

ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

ガラス美術館2階企画展示室ではガラス作家本郷仁さんの展覧会が開催中です。

今回の展示のメインは「外のうちと内のそと」という作品で、中に入って鑑賞できる大型立体作品です。今までの展覧会では展示ケースの中だけに作品展示をしていたのですが、今回は思い切って展示室全体を使うような作品構成になっています。

大型作品の中に入ると、短冊状の鏡が一定の間隔を空けて無数に配置されており、半分は作品の外側の空間が見え、半分は鏡に反射して自分のいる内側の空間が見えます。

作品の壁面を見ながらゆっくり(ぶつからないように!) 歩くと、、、どこが外側でどこが内側が分からなくなってしまうような錯覚に陥ります。普段、視覚で空間認識している部分を惑わされている感じがして、初めて入った時はなんとも言えない感覚を体感しました。本郷さんが考える「見る」ということは、目で捉えるだけではなく、体全体を使って体感することも「見る」ということになるのか!と驚いてしまいました。

この不思議な感覚をぜひ一度皆様にも体験していただきたいです。会期は7月8日までですので、機会があればぜひご来館ください。(尚、作品の壁面はガラス張りになっているため、鑑賞時には壁面を押ししたり、もたれかかったりしないようご注意ください。)



中に人が入れる大型立体作品



内部壁面。無数の鏡で視線を惑わされる

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

中山間地域等直接支払制度の実施状況

中山間地域等直接支払制度とは、中山間地域等の農業生産条件が不利な地域における農地の耕作放棄の防止など、将来に向けて農業生産活動を継続する前向きな取組みを行うことを目的とし、5年以上耕作を続けることを約束した耕作者の方々の同意による集落協定を町と結ぶことにより交付金が交付される制度です。

当制度の方針に基づき、平成29年度の実施状況を公表します。

項目	内容
集落協定の概要	<p>対象となる農地は、鏡野町の中山間地域等直接支払基本方針に基づき、農振農用地区域内の一団の急傾斜農地(傾斜率1/20m以上の田)及び緩傾斜農地(傾斜率1/100m以上1/20m未満の田)。</p> <p>将来に向けた集落マスタープランを作成し、適切な農用地管理及び関連する水路、農道等の適正管理を実施する。基本的に助成金の2分の1以上は、面積に応じた個人配分として使用する。</p>
実施地区	<p>*鏡野地域 (24集落協定/協定面積144.5ha/ 交付額29,247,569円)</p> <p>*奥津地域 (34集落協定/協定面積227.1ha/ 交付額33,765,291円)</p> <p>*上齋原地域 (18集落協定/協定面積93.6ha/ 交付額11,873,785円)</p> <p>*富地域 (29集落協定/協定面積106.3ha/ 交付額13,304,231円)</p>

お問い合わせ先 鏡野町産業観光課 電話(0868)54-2987